



2013年4月



アフガン ニュース

最新ニュース

教経済針の選択

転換期に近づくにつれ、アフغانستانは経済的自足を急速に成長させてきた。

昨年税金と顧客を16.4億に上げ、これは10年前に比べて14倍にもなった。

政府は現在、給料などの、頻発する経費の50%支払うことが可能となっている。

GDPに対するアフغانستانの税金が11%を超え、これは隣国の数値：9%を上回っている。

価格はこれに伴い向上している。今年工業のみの税金はだけで25億ドルにも上ると推定されている。

今号のコンテンツ

最新のニュース Pg.1-3



カルザイ大統領がガズニー市に記念の言葉を贈る

今月はじめ、ガズニー市は「イスラム文明の中心」という名前と名づけられた。2007年にリビアで開催された第6回イスラム圏教育科学文化機関の会議によって決定された。

ガズニー市は古く且つ名高い文化を持ち、現在でも44もの文化的建造物が存在している。

記念式典が4月13日に開催され、ハミッド・カルザイ大統領は「今回任命されたことを誇りに思い、この出来事は次世代にも紹介され続けるだろう。」と祝辞を発表した。カルザイ大統領はガズニー地方行政、情報・文化大臣そしてISECOに感謝の気持ちを表した。

500平方メートルの土地に建物が建てられたが、教室不足が問題としてあがっている。

ダライ・アリ、マルーフ、サブズ・アラ地域では、高等学校が2校、男子中学校が1校、女子高校が1校のあわせて4校が建設されている。あわせて50の新しい教室ができ、1500人の生徒が使用できる。4校のうち3校は日本の支援で、残りの1校はイタリア人の後援者によって建てられた。

新しい学校が国内各地で開校

5つの学校が日本の支援のもとで開校された。合わせて125の教室があり、12,500人の生徒が利用できる。4月1日にはマザー・フォー・ピースというフランスの団体からの支援のもとで新しい小学校が開校された。500平方メートルの土地に建物が建てられたが、教室不足が問題としてあがっている。

新しい学校が国内各地で開校

5つの学校が日本の支援のもとで開校された。合わせて125の教室があり、12500人の生徒が利用できる。4月1日にはマザー・フォー・ピースというフランスの団体からの支援のもとで新しい小学校が開校された。

(Continued on page 2)



左：ラスール外務大臣は4月のNATO会議で演説をしました。 右：4月18日、ファティミ大使は天皇皇后両陛下のガーデンレセプションに参加をしました。

ダライ・アリ、マルーフ、サブズ・アラ地域では、高等学校が2校、男子中学校が1校、女子高校が1校のあわせて4校が建設されている。あわせて50の新しい教室ができ、1500人の生徒が使用できる。4校のうち3校は日本の支援で、残りの1校はイタリア人後援者によって建てられた。

バルク州ショルガル市では16室を持つ高校が建築され、1,600人の生徒が通えることができました。今月マザリ・シャリフ州でビルの2室を借りシタラ幼稚園が開設された。

バディス州で小学校がリニューアルオープンされ、500人の生徒達が通う予定。シャンチャラク市、フェレシュカン女子高校では10,000の予定。

カンダハール州、パンジュワイ市では4月13日にアジムザイ学校が開設され、60人の子供達が教育を受けることになった。地区長は現地の警察のサポートに対しに感謝を表した。

世界健康の日を宣言

アフガニスタン保健省は4月8日、世界健康の日を祝った。今年のテーマは高血圧に焦点を当て、高血圧の原因や結果、予防策、そして合併症との関連性に関する認知の拡大を目指している。このイベントで、公衆衛

生大臣スラヤ・ダリル閣下、労働、社会問題、殉教者大臣アメナ・サファイ・アフザリ閣下、衆議院厚生委員会委員長ナチブッラ・ファイエク閣下、WHOアフガニスタン代表のアマッド・シャドール閣下などが出席した。

通勤が容易になるための最も新しい橋

45メートルに渡る橋の建設が交通渋滞の緩和を目的にカブールで始まっている。完成まで11ヶ月かかる見通しである。カブール市内ではここ3年間の間に6つの新しい橋がすでに建設されている。

営業利益が鼓舞し続ける

定期市が今月はじめにヘラートで開催され、国産品を求めて約4万人の人々がこの催しに参加した。地元の工場長たちは定期市を通じて、複数の100万アフガニ契約をすることを可能にした。海外から来た顧客は、靴やカーペット、食料品、大理石で作られた商品、オートバイなどに特に興味を表していた。

トルコ、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ、アフリカ連合から来た外資系企業がアフガニスタン国内の天然資源に興味を示している。ワ

ヒデュラ・シャフラ大臣はこのプロジェクトに対し2ヶ月中入れを可能にし、署名を考えている。以下が開発される予定のプロジェクト：

- 北アフガニスタン、バルク州のアフガン-タジキ周辺で資源ブロック
- ガズニ州、モコル市の金と銅鉱山
- バダクシャン州、ラギスタン市の金鉱
- サルエブル州の銅鉱山
- ヘラート州の半パシュト半アドラスカン市の銅鉱山

下：4月20日、ファティミ大使は安倍晋三総理大臣の花見イベントに参加をしました。



106-0041 東京都港区麻布台2-2-1
在日本国アフガニスタン大使館

電話・ファックス
Tel: 03-5574-7611 ・ Fax: 03-5574-0195

ウェブサイト
www.afghanembassyjp.org



Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org
Facebook: www.facebook.com/afghanembassyjp
Twitter: @afgembtokyo



アフガニスタン大使館ポッドキャスト

これらのプロジェクトはアフガニスタンの経済に数十億ドルをもたらす可能性があり、燃料やガスを含む鉱山省のシェアは2024年で40億ドルに達する予定だ。他の天然資源の貢献で国の経済45から50% になる予定だ。

することの2点である。これらの成果として、酪農部門で雇用された女性は専門的援助が与えられる。カブール近郊の州に住む約17万世帯に利益をもたらす見込みだ。

今月カブール市民に対して新しい電子IDカードが配布され始めた。このカードは近日にも他の州でも2014年の大統領選挙で使用するために導入される予定である。

バルフ州で家禽農業が成功

バルフ州で家禽農業が良い成果を挙げている。その地域では、家禽農業が20年前から行われており、現在では約120世帯、およそ6000人の人々が従事している。

なお、国際農業開発基金と国連食糧農業機関がこの事業を支援している。

NHKの海外ネットワーク

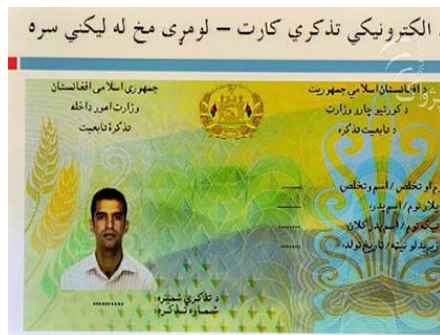
4月21日、NHKの海外ネットワークにアフガニスタン大使館のSNSの活動が取材をしました。

ぜひ、大使館のYOUTUBE、ツイッター、FACEBOOKを御覧ください。どうぞ、フォローとライクしてください。

アフガニスタン投資支援機構の建設が始まる

アフガニスタン投資支援機構が使用する3階建て建造物の建設が4月10日コースト市で始まった。組織は2007年以来コースト市を市場としており、今後はコースト州の投資をより多くしていくために、新しい施設を使用する予定だ。

新しいIDカードが配布される



女性と再移住した人々に農業生産力の更なる向上を託す

地域組織と地方政府の権利を拡大することによって今後6年間農業と家畜の生産性を向上させる施策が行われている。主な焦点は、再移住した人々と母子家庭を支援することにより小規模の農家が市場参入を容易に

